



入学したきっかけは 「住んでいる沢岬の事をもっと知りたい」 という興味でした

沢岬アマウエーダ同好会 くによし きよし 國吉 清 さん(66)

平成24年にてだこ市民大学に入学し、沢岬の「アマウエーダ」の再現に尽力した。平成26年には約70年ぶりの再現となるアマウエーダの初披露を行い、地域の文化継承に大きく貢献。

沖縄に古くから伝わる古謡「おもろさうし」はご存知ですか。浦添市の沢岬にも「アマウエーダ」という古謡があるんですよ。

地域で自治会活動を通して、地元沢岬について色々と興味が湧いてきたその時、いろんな人と地域に密着して学ぶことができた「てだこ市民大学」を知りました。すこしリラックスしながら講座などを受けるのかなと思っていたのですが、卒業研究発表があると思った時は、そこまでやるのかと少し驚きました。入学後、卒業研究のテーマを何にしようかと考えていた時、気になったのは沢岬の歴史についてでした。そこでテーマ探しに入ったのですが、仲良くなった高齢の自治会員から、「アマウエーダ」のことを耳にしました。話を聞くと、その人の母親がよく口ずさんでいたそうで、それはだいぶ昔から謡われていたとの事でした。

興味をそそられた私は、自治会が発刊した『字誌たくし』やおもろ等の古謡の関係資料を調べました。その中で、アマウエーダは稲作の行程をうたにしたもので、約500年以上も以前

からうたわれる『伝統行事』であつたと知りました。稲作が始まる時、一大イベントとしてのうたが昔から謡われていたと知った時、『これは地域の宝として残したい』と思ったんです。そのことを自治会関係者に話すと、皆さんすぐにやる気を出してくれて、研究や練習にとっても協力してくれました。そうやってできたのがアマウエーダ同好会。今では敬老会の時期に合わせて練習しています。

てだこ市民大学を卒業後、念願の「アマウエーダ」を敬老会で披露することができた時は感無量でした。約70年ぶりの再現という事で新聞にも取り上げてもらい、再現の試みを通して地元の誇りや思いを感じることができました。

ただ、「アマウエーダ」にはまだ分からない点もあり、今後どのように発展伝承するか、といった課題もあります。地域の人々の思いや同好会会員の主体性も大切にしながら、後世につなげていけたらと思っています。



■特集 浦添市の生涯学習 いつもと違う毎日へ

一人一人が
豊かな人生を
送るために

私 たちは日常、人との会話や、祖父母や親の知恵などから様々なことを学んでいます。それが学校教育とは全く関係ないことでも、新しい自分を気付かせるきっかけとなり、いつもと違う毎日がやってきます。「学び」によって人生を変えること、それが「生涯学習」です。浦添市では現在、「いつでもどこでも、だれでも参加できる生涯学習活動」のイベントであるまなびフェスタを毎年開催しています。

その他、学習環境づくりでは、放課後子ども教室を開催し、キーパーソンづくりとして、てだこ市民大学を運営。「子どもから大人まで」を対象とした多様な生涯学習を通じて、「学び」を地域に還元し、様々な貢献ができるよう取り組んでいます。

心を豊かにする生涯学習。あなたの毎日を特別なものに変えてくれるに違いありません。



私たちが目指すのは 市民と行政の 「協働まちづくり」です

浦添市教育委員会 生涯学習振興課

いしぎか 課長 石坂 ひとみ さん

学ぶきっかけは人それぞれで、私たちはそれに合った学びの場を自ら進んで選んでいます。「生活の中で何かを学び、これからの生活に生かすこと」それが生涯学習です。

学んだ成果は個人にとどまらず誰かに見てもらいたい、伝えたい、役に立ちたい。すべて循環します。『それいいね』や『こうした方がいいんじゃない』という声により励まされ、一層頑張れます。

まなびの成果を正しく評価できる社会にしていきたいものです。

浦添市教育委員会では、様々な事業で皆さんの学習活動をお手伝いしています。ぜひ気軽にお声かけください。

出前講座のお知らせ

市では、市民団体などが主催する集会に市の職員が講師として出向き、市政や専門知識を活かした実習などを行う出前講座を行っています。

市の取組や生活に関することなど様々な分野の講座があります。

地域活動に仲間同士や学校でご利用ください。

利用条件

市内在住、在勤、在学の
10人以上の団体

講座

健康・福祉、スポーツ、くらし・環境、教育・文化、まちづくり、市政、施設案内など

費用 無料